

# 過去の病？ 水俣病・力ネミ油症 ～ 公害 被害者救済の医師団から～

医師団のひとり、藤野 紘先生は、水俣病・力ネミ油症にかかる誤った認定基準の問題と特に力ネミ油症では、直接汚染を受けていない**次世代・次々世代の被害の実態**を報告されます。

1956 年に公式確認された**水俣「奇」病**は、1959 年に熊本大学医学部研究班により「原因はある種の有機水銀化合物」とされました。その後、水俣病は「1953 年に発症。1960 年に終息。患者数 111 人」と過去の病気となりました。しかし、それは**汚染の一部であった**のです。被害者は数々の裁判を闘い、現在、行政認定患者 2,283 人を含む約 7 万人の被害者が救済されるも、汚染の全貌は未だ明らかにされていません。藤野先生は、1968 年 9 月の政府の公害病認定後の 1970 年より被害の実態を明らかにする活動に従事しています。

また力ネミ油症は、1968 年に発見された**食品公害**で、初期には皮膚症状が重視され、原因はダイオキシン類と明らかにされて 36 年後の血中残留濃度が診断基準に加わりました。しかし**多くの被害者が救済を拒否されてきた**事件なのです。それに加えて毒性は、胎児期曝露による直接の被害にとどまらず、被ばくを受けた女性が、数年あるいは**十数年以後に産んだ子ども**にも及んでいます。

藤野先生からの報告をじっくりお聞きしたいと思います。

2020 年 3 月 13 日(金) 18:30 ~ 21:00

# 過去の病？ 水俣病・力ネミ油症

講師：藤野 紘 水俣病訴訟支援・公害をなくす県民会議医師団 団長  
水俣協立病院名誉院長／芳和会 菊陽病院 医師

## 【プロフィール】

カネミ油症、水俣病診療に尽力し、2019年に若月賞（農村保健振興基金主催）を受賞。

若月賞は、新医協の設立メンバーのひとりで、長く地域医療に尽くした長野県の若月俊一・佐久総合病院長（故人）の功績をたたえて制定された。過去には水俣病の究明に取組んだ故・原田正純医師、また故・中村哲医師も受賞している。

## 【主な書籍】

**水俣病の真実**～被害の実態を明らかにした藤野紘医師の記録～ 出版社：大月書店／出版年：2005年

日時：2020年

**3月13日(金)**

18:30 - 21:00

会場：**としま区民センター**

会議室 504

としま区民センター

住所：東京都豊島区東池袋1-20-15 / ☎：03-6912-7900

アクセス：JR他各線「池袋駅東口」より徒歩7分。中池袋公園方面へ進み、隣り。



※お名前と日中連絡の取れる電話、メールをご記入いただき、  
下記までFAXもしくメールにてお申込みしてください。

お名前：

連絡先：

※どちらかに□を入れてください。

**非会員 (1000円)**    **新医協会員 (500円)**

新医協（新日本医師協会）

TEL 03-3988-8387 e-mail [honbu@shinikyo.com](mailto:honbu@shinikyo.com) 〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-10-2 日高ビル405

**FAX 03-3983-6165**

